

伊藤 ゆきひろの ちょこっとタイム



後援会便り <No.42号> 2014年 8月1日 発行

ごあいさつ

暑さの盛りにも、立秋の言葉を耳にするだけでホッと心が和むことも・・・

夏期連休までもう一頑張りですが、先日7月29日には、土用の丑に因み夏を代表する味覚・ウナギの高騰が庶民のささやかな幸せを奪うという話題が、ニュースで取り上げられていました。

遠く、地中海に面した中東・ガザ地区では既に千人を超す犠牲者が出た模様 という報道とは、天と地もの違いを感じます。

日本の平和は当然のものではありません。

我が国が経験して来た数々の戦争や、その結果として、唯一の被爆国であるという認識を通して、今激変しようとする日本の安全保障の仕組みを、根幹からしっかり考える時機が来ています。

武器輸出可否の論議だけでなく、憲法9条の概念世界に発信して行くことの重要性を思います。

ところで、2014年上半期の世界販売台数3年連続首位のトヨタが“恋する充電プリウス”を販売強化、原油高の煽りを受けない更なる開発が期待されます。

8月、議会の役職改選が行われますが、刷新された議会構成が市民に期待をもって受け入れられる様心も新たに、職務を実直・誠実に遂行する所存です。



刈谷市議会議員

【後援会事務所】

刈谷市一里山町金山100番地
(トヨタ車体労働組合内)

Tel. 0566-36-3870

Fax. 0566-36-6272

E-mail itou@bwcom.or.jp



歳時記

8月 1日 (金) 八朔	朝顔とゴーヤのグリーンカーテンが
// // 夏土用の間日	涼しげな朝、早起きのラジオ体操は
6日 (水) 夏土用明け	身も心もスッキリ快調な気分です。
7日 (木) 立秋	お盆も近く、親族が久しぶりに顔を
15日 (金) お盆	合わせる行事も多くなります。
// // 終戦記念日	日頃のご無沙汰を詫び、旧交を温め
23日 (土) 処暑	る機会を大事にして行きましょう。

伊藤 ゆきひろの ちょこっと情報 !!



刈谷 良いトコ ♪



銀色に輝く宇宙に、たゆとう6本のスパイラルアームさながら、高く吹き上がる間欠泉が涼を誘います。夜間、虹色のライトアップは幻想的です。さて、ここはどこでしょう？



7/1発行の<No.41>の答えは、広小路町の名鉄三河線・刈谷市駅前ロータリーでした。かつて賑やかだった商店街。徐々に新しい街並みが・・・時代を見守る懐深い蘇鉄です。

"ロストワールド" への招待 ☆

じつとりとした大気、むせ返るような緑のにおい、熱い吐息をそっと隠し茂みにうごめくのは、息を潜めて獲物を求める瞬間を待つ巨大な生物です。

奇想天外なフォルム、優美なボディライン、ユニークな角や飾りのデザイン性、おどろおどろしいまでの究極の面立ち...どれをとっても摩訶不思議な見る者の目を、存分に惹きつける 魅力に満ちています。その名は“恐竜”。

人類の歴史は、類人猿から分化し現在に至るまでおよそ五百万年、恐竜は三畳紀・ジュラ紀・白亜紀を通して約一億五千万年もの長い繁栄を誇りました。

さてその見たことも無い生物と人類が出会ったのはいつの事でしょうか？ 骨格の一部さえあまりに大きく、ギリシア神話に登場する巨人族・ギガンテスのものと思われた時代や、ノアの洪水で死んだ生き物と言われたことも。

19世紀初頭、イギリス人医師 ギデオンのマンテルにより、それがかつて絶滅した古代の生物だと 初めて解明された時の 驚きと感動はいかばかり？ 夏休みの子供達は、そんな太古の昔への時間旅行に 瞳を輝かせます☆

8月の行事予定

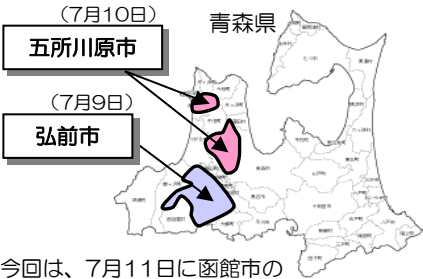
- 8月 1日 (金) 衣浦東部広域連合決算説明会
- 8日 (金) 臨時議会
- 19日 (火) 衣浦東部広域連合議会
- 23日 (土) 地域議員懇談会
- 24日 (日) 元気な地域応援事業住民会議
- 25日 (月) 監査定例会
- 28日 (月) ~29日(金) 監査委員研修

“まじめに
コツコツ、即行動”
頑張ります!!



7月のフットワーク

市民クラブ会派による行政視察報告（7月9日～10日）



＜市民クラブ会派＞
山内智彦・沖野温志・黒川智明・中嶋祥元
鈴木浩一・佐藤奈特・伊藤幸弘（7名）

＜目的＞
今回は、「定住自立圏の連携」と「中心市街地の活性化」について、先進的な取り組みを行っている都市を訪れて来ました。刈谷市も同様の事業を行っていますが、現地で先進事例を学び今後の事業推進に活かすことを目的に視察して参りました。

今回は、7月11日に函館市の『子育て支援の民営化』についても視察を予定していましたが、台風8号接近の影響により中止しました。（7月8日の段階で中止を決定）

【弘前市】『定住自立圏連携施策』について

定住自立圏の連携とは、周辺市町で協定を結び、圏域全体で生活機能を有効に活かす取り組みです。刈谷市は平成23年3月、知立市・高浜市

東浦町と連携協定を締結。弘前市も同年10月に締結しましたが、刈谷市が行う連携協定と比較すると幅広い分野での取り組みが行われており、特に教育では給食や学校間の交流、防災では合同避難訓練等は参考になりました。

財政面では、弘前市も刈谷市同様、圏域の中心市のため事務負担が集中するため、メリットとリスクを十分検証し進めなければならぬと感じました。

【五所川原市】『中心市街地再生』について

五所川原市の中心市街地は、大型店舗の郊外立地により空き店舗が増え衰退傾向にあったが、「中心市街地活性化構想」を策定し、伝統文化の『立佞武多』（ちねぶた）観光をキーワードに、地区が協議会を設置し地権者の協力と総意で中心市街地の土地区画整理事業を推進し、“まちの賑わい”を取り戻しました。



「立佞武多の館」を見学 年間14万人の来場者 国からの助成(補助率)

H16～17年度	都市再区画整理事業交付金(50%)
H18～22年度	まちづくり交付金(40%)
H23～27年度	社会費本整備総合交付金(50%)
総事業費 75億3,600万円	

刈谷市も、「中心市街地活性化基本計画」があり、刈谷駅前の南北を整備して来ましたが、中心市街地全体の整備は、まだ道半ばと言えます。再整備を強力的に推し進めるには、地域の協力が不可欠。それぞれのエリアごとに地権者を巻き込み、行政がビジョンを具体的に示し地域の主体性を促す進め方が重要。幅広い年層が訪れ、歩いて楽しむ魅力あるまち並み形成を目指し、行政は早くアクションプランを策定し、積極的な再開発を進めなければならぬと感じました。



弘前市の定住自立圏域（3市3町2村）



★★★ 市政ピックアップ ★★★

7月25日（金）行政評価委員会（外部評価）が開催されました。



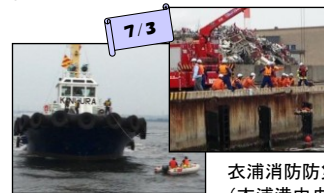
行政評価委員会は、第7次総合計画の進捗状況を外部の視点で評価するもので、平成23年に設置され、これまでは、総合計画の基本施策の評価を行って来ましたが、今回は、その基本施策に対する小施策と小施策を構成する各事務事業を一体的に評価する委員会でした。

【評価委員】 学識経験者・弁護士・公認会計士・企業代表者（計7名）で構成
【評価の視点】 小施策の項目（①～⑥）に対して、小施策を構成する事務事業の成果が有効に機能しているかという視点で、成果指標の的確性や他市町村との比較検証および課題の妥当性など各委員より意見提案を受ける。

基本施策	施策数	小施策		事務事業	
		今回取り上げた小施策	事業数	具体的な事業名	
I 市街地・住環境	4	① 計画的な土地利用	7	東陽町地区整備事業等	
II 青少年育成	3	② 青少年の自立支援と境参加の促進	4	放課後子どもプラン等	
III 地域福祉	3	③ 地域福祉推進体制の充実	4	社会福祉協議会補助事業等	
IV 農業	5	④ 食育の推進	7	給食調理事業等	
V 防災	4	⑤ 災害に強いまちづくり	5	わが家の地震対策事業等	
VI 行政経営	3	⑥ 効率的な行政運営	10	自動車管理事業等	

委員から、計画的な土地利用では、市域を超えた都市計画の観点が必要。青少年の自立支援では、教育委員会の枠内で考えがちになるが、他部、他市町村、県、民間等の連携も必要。食育でも、農業の位置づけとなっているが、教育・健康という視点もあり施策体系の見直し検討が必要。など広い視点を意識した施策推進を図って欲しいとの指摘。

各種行事に参加しました。



7/3 津波発生時の海上救出活動の実践訓練
衣浦消防防災訓練（衣浦港中央ふ頭）



7/20 刈谷警察署より「自転車の通行ルール」について講話



7/22 政策実現に向けた課題と実現を目指す活動を確認

ちよこつと情報

戦国時代の甲冑づくりを紹介



厚紙や紐を使って、本物ぞっくりの甲冑づくりを行なう教室です。

熱心に甲冑づくりに取り組む会員のみなさんです。

刈谷市総合文化センター内の中央生涯学習センター3階の創作活動室で開かれています。



既に募集は締め切れ、7月5日～スタート。来年2月に一人一体の完成を目指し頑張っていました。今後も毎年開催し、仲間を増やして将来はちびっこ甲冑隊も加わり、甲冑行列の大イベントが企画できれば良いですね。